

令和 5 年度 古賀市児童生徒の問題行動・不登校等調査結果について

文部科学省が「令和 5 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」について、また、福岡県教育委員会が「令和 5 年度公立小・中学校の生徒指導上の諸課題の現状について」の調査結果を公表しました。古賀市の調査結果（概要）は次のとおりです。※学校教育課調べ

- ・ 調査対象

古賀市立小中学校（小学校 8 校、中学校 3 校）

- ・ 調査期間

令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 3 1 日）

- ・ 主な調査内容

- I 暴力行為の状況
- II いじめの状況
- III 不登校の状況

・主な調査結果

I 暴力行為の状況について

○暴力行為の発生件数（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学校	10	16	15
中学校	2	3	11
合計	12	19	26

○1,000 人当たりの暴力行為の発生件数（単位：件）

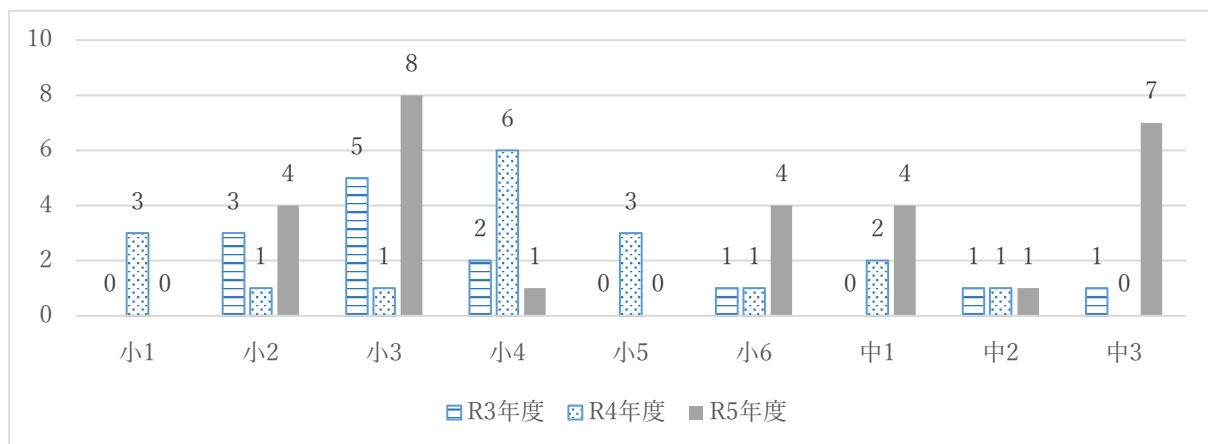
	小学校			中学校		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
全国(公立)	7.7	9.9	11.4	7.9	9.6	10.9
福岡県(公立)	2.5	3.2	2.8	5.7	6.5	6.4
古賀市	2.8	4.4	4.3	1.2	1.7	6.3

○形態別発生件数（単位：件）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
対教師暴力	0	2	2
生徒間暴力	12	17	24
対人暴力	0	0	0
器物損壊	0	0	0
合計	12	19	26

○学年別加害児童生徒数（単位：人）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	合計
令和 3 年度	0	3	5	2	0	1	0	1	1	13
令和 4 年度	3	1	1	6	3	1	2	1	0	18
令和 5 年度	0	4	8	1	0	4	4	1	7	29



Ⅱ いじめの状況について

○いじめの認知件数（単位：件）

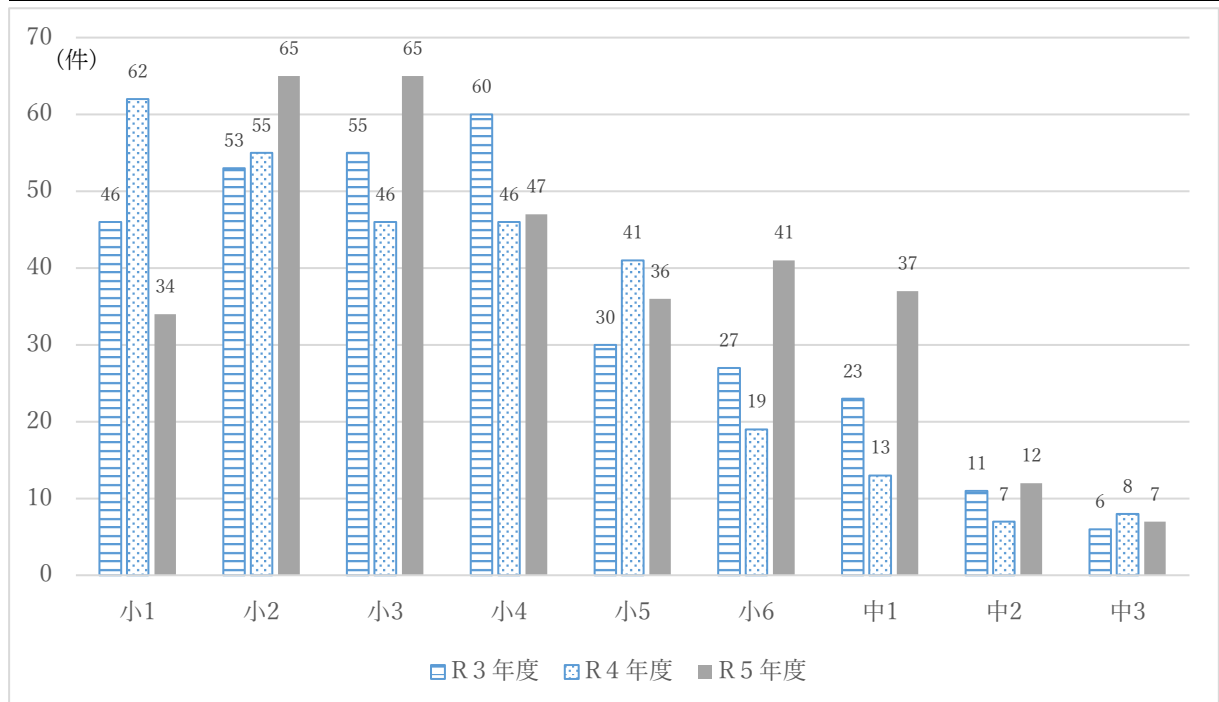
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学校	271	269	288
中学校	40	28	56
合計	311	297	344

○1,000 人当たりのいじめの認知件数（単位：件）

	小学校			中学校		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
全国(国公立)	79.9	89.1	96.5	30.0	34.3	38.1
福岡県(公立)	37.4	46.5	47.7	19.5	24.1	24.6
古賀市	75.7	74.8	81.9	24.1	16.2	32.3

○学年別いじめの認知件数（単位：件）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	合計
令和 3 年度	46	53	55	60	30	27	23	11	6	311
令和 4 年度	62	55	46	46	41	19	13	7	8	297
令和 5 年度	34	65	65	47	36	41	37	12	7	344



○いじめの発見のきっかけ

区 分	割 合
学校の教職員等が発見した	58.7%
学校の教職員以外からの情報により発見した	41.3%

○いじめの主な態様別状況（複数選択可）

区 分	小 学 校
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	47.2%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	17.4%
仲間はずれ、集団による無視をされる	9.1%

区 分	中 学 校
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	51.6%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする	21.9%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	9.4%

○いじめの対応状況

（１）いじめた児童生徒への主な対応（複数選択可）

区 分	割 合
保護者への報告	50.9%
いじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導	35.4%
校長、教頭が指導した	7.5%

（２）いじめられた児童生徒への主な対応（複数選択可）

区 分	割 合
別室の提供や常時教職員が付くなどして、心身の安全を確保した	40.4%
学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施した	40.4%
スクールカウンセラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行った	10.6%

Ⅲ 不登校の状況について

○長期欠席者数（単位：人）

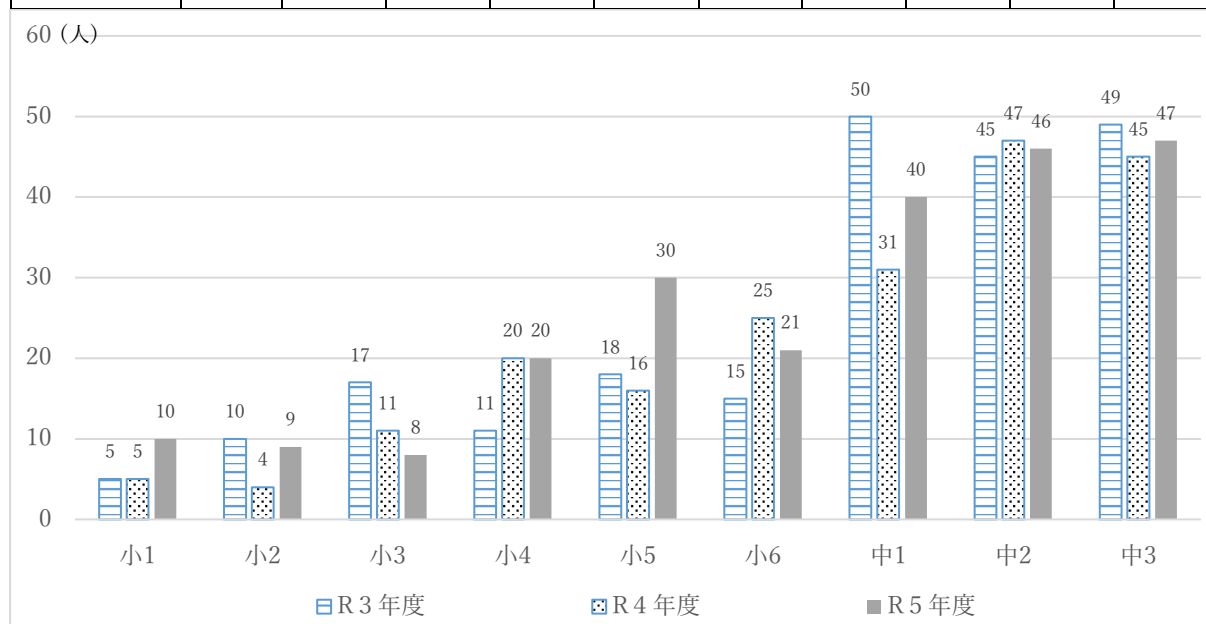
	理 由	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学校	病気	10	23	13
	経済的理由	0	0	0
	不登校	76	81	98
	新型コロナウイルスの感染回避	6	4	－
	その他	2	17	30
中学校	病気	4	18	20
	経済的理由	0	0	0
	不登校	144	123	133
	新型コロナウイルスの感染回避	0	0	－
	その他	2	16	9

○1,000 人当たりの不登校児童生徒数（単位：人）

	小学校			中学校		
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
全国(国公立)	13.0	17.0	21.4	50.0	59.8	67.1
福岡県(公立)	15.8	20.9	26.8	58.4	68.9	78.9
古賀市	21.2	22.5	27.9	86.7	71.1	76.6

○学年別不登校児童生徒数（単位：人）

	小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	合計
令和 3 年度	5	10	17	11	18	15	50	45	49	220
令和 4 年度	5	4	11	20	16	25	31	47	45	204
令和 5 年度	10	9	8	20	30	21	40	46	47	231



○不登校児童生徒について把握した事実

	不登校児童生徒数	いじめの被害の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	学校のきまり等に関する相談があった	転編入学、進級時の不適応による相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	不安・抑うつ相談があった	障害(疑い含む)に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	個別の配慮(障害(疑い含む)以外)についての求めや相談があった
小学校	98	0.0 %	8.2 %	6.1 %	20.4 %	4.1 %	3.1 %	4.1 %	28.6 %	16.3 %	2.0 %	39.8 %	15.3 %	28.6 %	16.3 %
中学校	133	0.0 %	21.1 %	2.3 %	21.8 %	2.3 %	8.3 %	5.3 %	13.5 %	18.0 %	6.8 %	29.3 %	31.6 %	3.0 %	9.8 %

※長期欠席者の状況で不登校と回答した不登校児童生徒全員につき、当てはまるものを全て回答。不登校児童生徒数に対する割合。

○相談・指導等を受けた学校内外の機関等

(1) 不登校児童生徒が学校内外の機関等で相談・指導等を受けた状況(単位:人)

	受けた児童生徒	受けていない児童生徒
小学校	69	29
中学校	104	29
合計	173	58

(2) 学校内外で相談・指導等を受けた児童生徒の状況(複数選択可)

	区 分	小学校	中学校
学校外	教育支援センター	14.7%	13.1%
	教育委員会所管の機関(教育支援センターを除く)	10.1%	7.3%
	児童相談所、福祉事務所	9.2%	3.6%
	保健所、精神保健福祉センター	3.7%	2.2%
	病院、診療所	11.9%	16.1%
	民間団体、民間施設	9.2%	3.6%
	その他	4.6%	2.9%
学校内	養護教諭による指導等	6.4%	19.7%
	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、相談員等による専門的な相談	30.3%	31.4%

○不登校児童生徒のうち自宅におけるＩＣＴ等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童生徒数（単位：人）

	指導要録上出席扱いとした児童生徒数
小学校	4
中学校	5